徳富蘇峰・髪塚祭のご案内

無料

明治から昭和にかけてのジャーナリスト徳富蘇峰を偲び、毎年命日である11月2日に「髪塚祭」を開催しています。今年は下記要領で開催いたしますので、ぜひご来場されるようご案内申し上げます。

日時：令和元年　11月2日（土）10時～12時
※9時30分受付開始

会　場：大江公民館　C会議室
熊本市中央区大江6－１－85
※極力，公共交通機関をご利用ください。

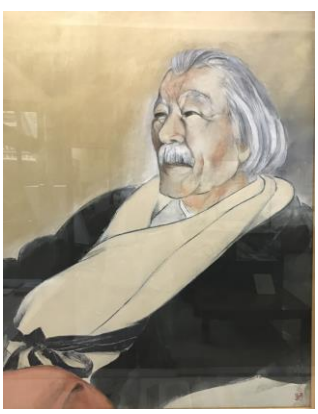
内　容（1）「髪塚祭の想い出」　近澤　眞人　氏

（2）「吟詠奉納」香雲堂吟詠会　瓜生田山櫻女史と社中

（3）「蘇峰　青春時代の漢詩紹介と吟詠」
凌雲吟社（熊本漢詩連盟所属）
宮本照雄氏・石坂恒雄氏と社中

【徳富蘇峰】

熊本県芦北郡水俣郷の郷士・徳富一敬の長男として文久3年（1863）に生まれた。熊本洋学校、同志社等に学び、民権私塾「大江義塾」を開き、「将来之日本」により文名を挙げ上京。明治20年に民友社を設立し、『国民之友』を主宰。明治23年『国民新聞』を創刊。ジャーナリストとして言論界で活躍した。大正７年（1918）から書き始めた『近世日本国民史』は、昭和27年（1952）まで55年間をかけて、全100巻を書き上げた。昭和32年11月2日、熱海市、晩晴草堂で、94年の生涯を終えた。



画：堅山南風画
徳富記念園所蔵

【髪　　塚】

熊本市西区島崎霊樹院敷地内にあり、巨大な自然石の下に徳富蘇峰先生の髪が納められています。昭和２５年（1950）蘇峰の米寿にあたり、公職追放中であった先生を慰め励まそうと、吟詠家・瓜生田君子女史が、大橋万亀女史、近澤まさ女史等と計画したもので、これを聞いた先生は非常に喜び頭髪を贈りました。その後、碑が建立され、毎年、蘇峰命日の１１月２日には髪塚祭が行われ、碑面の詩を吟唱して故人を追懐しています。

徳富蘇峰先生髪塚

主催　徳富蘇峰勉強会（世話役　中村青史　元熊本大学教授）
共催　凌雲吟社（熊本漢詩連盟所属）後援　香雲堂吟詠会
後援　同志社校友会熊本県支部　　問合先：末次（090-2852-4438）